

提案団体名:

株式会社MI

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等
※スマートシティの実現に資する技術については、別紙3の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
<p>(1) 通信ネットワーク技術とセンシング技術 次世代移動通信「5G」対応通信機 センシング技術による設備監視・制御</p> <p>(2) 分析・予測技術 AIを活用した設備の予測保全 AI+センサーデータ解析による災害予測 車両センシングによる運行分析</p> <p>(3) データ保有 設備稼働状況及び故障情報 各種センサーによる天候及び環境データ GPS及び各種センサーによる車両運行データ</p> <p>(4) データプラットフォーム 蓄積データを活用したAIプラットフォーム及びクラウドサービス GPS及びセンサーによる車両運行の効率化プラットフォーム</p> <p>(5) データの活用(可視化技術等) GPS、各種センサーによる車両運行の可視化 センサーによる農業自動化</p> <p>(6) (1)～(5)を活用した新たな応用技術 無人搬送ロボットによる自動化、無人化 ドローンによる設備の自動保守・保全</p> <p>(7) その他 高セキュリティネットワークの構築実績 ネットワーク非対応設備等のネットワーク機能組込み技術 センサー及び通信機器開発技術 IoTインテグレーション技術</p>	<p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p> <p>(4)</p> <p>(5)</p> <p>(6)</p> <p>(7)</p>

(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ
 ※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の分類
(ア)交通・モビリティ 交通事故削減 買い物難民救済 渋滞改善 (イ)エネルギー 再生可能エネルギー設備の維持管理 各種設備監視制御による省エネ (ウ)防災 火山地帯の噴火リスク回避 沿岸部の津波リスク回避 災害時避難行動要支援者救済 河川氾濫監視 (エ)インフラ維持管理(老朽化) 橋梁、トンネル、道路等の劣化監視 (オ)観光・地域活性化 生産現場可視化による地域特産品の拡販及び食の安全確保 人流解析によるインバウンド需要拡大 (カ)健康・医療 医療機器の保全管理 健康状態の維持・向上 (キ)生産性向上 生産現場の無人化、自動化 (ク)環境 気象等のオープンデータの活用 下水機能の強化及びリスク可視化 (ケ)セキュリティ AI監視カメラによる自動検知防犯 危険人物事前予測 (コ)物流 運行の効率化 不在配達の軽減	(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ) (カ) (キ) (ク) (ケ) (コ)
(3)その他	
なし	

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
IoT事業部	片山	03-6435-7922	katayama@mi-j.co.jp ishibashi@mi-j.co.jp